

ココロ、トキメク、ヨッカイチ

広
報

よっかいち



YOKKAICHI CITY PUBLICITY PAPERS

2025

4

April

四日市の海が育む、春の恵み



撮影：ワカメの試験養殖（三田町地先）

- 02 【特集】 広がっています！みんなで支え合う
住民主体サービス
- 08 あなたのこれからを考える 人生会議をはじめよう

- 10 きらり四日市人 伊勢根付^{ねつけ}職人 梶浦明日香さん
- 11 人権のひろば / 市長の全力取材！
- 12 そらんぼへ行こう / 文化財さんぼ



広がっています！ みんなで支え合う

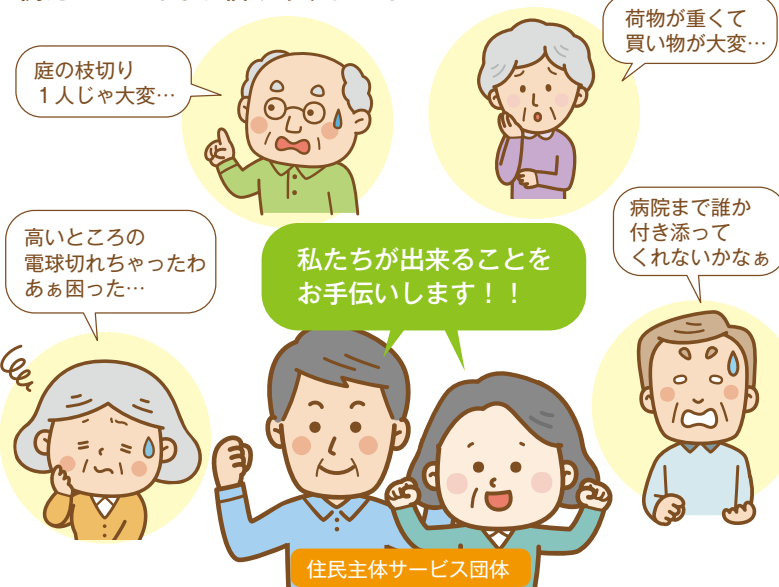
住民主体サービス

少子高齢化が進み、医療や介護の専門職の確保がますます難しくなると見込まれています。今後は専門職だけでなく、地域全体で高齢者を支える仕組みが大切になります。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための、地域住民による支え合い活動に、あなたも参加してみませんか。

ご存じですか？ 住民主体サービス

住民ボランティアやNPO法人などの地域住民が主体となって有償で実施するサービスです。「まだ介護は必要ないけれど、長距離を歩くのがしんどくなってきた」「重い荷物を持つのが大変になってきた」という高齢者に対して、掃除やごみ出しなどの日常生活を支援したり、体操や交流などで介護予防に取り組む「通いの場」を提供しています。

例えば…こんなお悩みありませんか？



住民主体サービスを使えるのはどんな人？

65歳以上で、心身の機能（手足の動き、精神の働き、視力・聴力など）が低下した人が対象です。

65歳以上で利用を希望する人



お住まいの地域の在宅介護支援センター、または地域包括支援センターに相談。
健康状態に合わせて要介護認定^{※1}またはチェックリスト^{※2}を実施

- ※1 どの程度の介護が必要かを判断する手続き。主治医の意見書や介護認定調査員による聞き取りが必要
- ※2 全25項目の設問で、日常生活の自立度や健康状態を判断する

相談したい人は
まずはこちらから



介護が必要な人
(要介護状態)

ちょっとした
助けが必要な人
(要支援状態、もしくは事業対象者)

元気な人

介護保険
サービスを利用



住民主体サービスの利用開始
地域包括センターと相談し、必要なサービスを
調整してもらう必要があります



具体的にどんなサービスがあるの？

訪問型サービス

掃除、ごみ出し、病院への付き添い、
電球交換など簡易な生活援助



ごみ出しで家事の負担を軽減

通所型サービス

介護予防、住民間の交流の場を提供



いきいき体操で健康をサポート

住民主体サービスを提供している **NPO法人ライフサポート三重西**

代表理事の思い

NPO 法人ライフサポート三重西
代表理事 菅瀬さん一人ひとりが生きがいをもって
暮らせる地域を目指して

在宅で生涯を過ごすための環境づくりが必要だと思い、平成25年から活動しています。多くの住民はできるだけ長い在宅生活を望んでいます。ごみ出しや買い物など、日常のちょっとしたことができないために、施設に入所している人がいます。ちょっとした困りごとを近隣住民が互いに支援できる仕組みを作ること、地域のつながりを構築し、高齢者の孤立や孤独死を防ぎたいという思いがありました。

介護予防には運動が大切です。筋肉は使わないとどうしても衰えるため、体操などで体を動かすことが週2回は必要だと考えています。そこで、私たちが運営するサロンでは、いきいき体操を毎日実施しています。また、体操だけでなく、大人が楽しめる趣味づくりが求められていると思い、習字教室やスケッチ教室などを取り入れ、より多くの利用者のニーズに応えるようにしています。その結果、月に延べ600人程度の利用者に参加いただいています。利用者みんなが楽しく通える場所となり、地域でのつながりができたことは本当に喜ばしいことです。

国の住民主体サービスという制度は平成27年に始まりました。先進的に取り組んでいた私たちの活動が注目されて、全国の自治体や事業者、厚生労働大臣が視察に訪れました。私たちの活動が評価され、大変うれしく思っています。今後も先駆者として活動を継続していきたいです。

今後の課題、目標について



通所事業所で利用者を出迎える菅瀬さん(左)

スタッフの高齢化による、なり手不足が課題です。やらされている人では運営は長続きしないため、自発的に動ける人材を確保することが重要です。

住民主体サービスを通じて、一人ひとりが生きがいを持って暮らせる地域社会づくりをしていくことが目標です。災害が発生したときにも、近隣との助け合いが必要になります。助け合える環境づくりの第一歩として、ごみ出しなど、身近なことからお互いにサポートするコミュニティを形成していけたらと思います。

で、お話を伺いました。

利用者の声

病院への付き添いが大変助かっています。

訪問型の住民主体サービスを利用して通院に付き添ってもらっています。予約時間が守れて、大変助かっています。

病院へ付き添ってくれる人とは以前から知り合いで、夫が亡くなってからずっと気に掛けていただいています。また、介護サービス以外も相談に乗っていただいているので、本当に頼りにしています。



三筒さん

ここに通うまでは、ずっと家の中にこもっていました。



石川さん

以前はずっと家にこもっていたのですが、ある介護事業所の人に、ライフサポート三重西を紹介してもらって通うようになりました。通い続けて3年が経ちました。

ここで実施している「いきいき体操」という、介護予防ができる健康体操のおかげで健康でいられます。97歳になりましたが、体操をしていれば、ちょっと体に痛いところがあっても、日常生活の動作ができるようになると実感しています。

知り合いは一人もいなかったのですが、いきいき体操を通じてたくさんの友人ができました。また、週2回、こちらの送迎車を利用していますが、送迎時に一緒にいる利用者と仲良くなることもあります。

ここに来ると歳を忘れて活動ができます。代表の菅瀬さんに、介護以外の生活のことをたくさん相談できるのも心強いです。

カラオケやいきいき体操を楽しんでいます。

ここでの楽しみはいきいき体操です。体の状態が良くなるのを実感します。この体操があるから94歳まで元気でいられたと思います。スタッフも良くてくれるので、今後も続けたいです。

運営当初からずっと通っていますが、いきいき体操以外の活動も全部楽しいです。特にカラオケが好きで、美空ひばりの「みだれ髪」などを歌っています。

カラオケやいきいき体操を通じて、友人が増えました。まだここに通っていない人がいたら、家にばかりいないでぜひここに通ってみてください。体も動くようになるし、認知症にならず頭も働きます。

私は幸せになれるからここに通っています。



山本さん

利用者の声

無理なく支え合える仕組みで、
安心して暮らせるまちへ。

三重地区に住む樋口さんと吉川さんは、ご近所同士で50年来のお付き合いです。足が痛む樋口さんはごみ出しが大変で、特に雨の日は外に出るのも一苦労です。そこで、ライフサポート三重西のメンバーである吉川さんが、代わりにごみを出したり、病院への付き添いをしています。

こうした助け合いは、住民主体サービスを通じて有償で行われています。無理なく支え合える仕組みがあることで、安心して暮らせるまちになっています。

お礼を通じて、お互い心地よく協力できるし、
続けやすいですね。



樋口さん



吉川さん

住民主体サービス、あなたもお手伝いしてみませんか

ひとつでも当てはまるなら、ぜひ参加を！

- ☐ 誰かの役に立ちたい
- ☐ 活動を通じて、自分も元気になりたい
- ☐ 地域の人と交流できる場を提供したい

ご相談は四日市市社会福祉協議会、
もしくは高齢福祉課へ

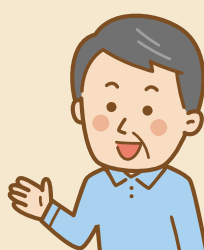


住民主体サービスの活動を支援します

本市では、住民主体サービスの活動を支援するために、団体の立ち上げや運営費用の一部を補助しています。また、四日市市社会福祉協議会に委託して「生活支援コーディネーター」を配置し、担い手となるボランティアの育成、実施法人の立ち上げや運営に関する助言をしています。

生活支援コーディネーターとは

利用者と各機関（市やサービス提供者）をつないだり、ニーズに合わせた新たなサービスをつくったりする、地域の高齢者支援の調整役です。



生活支援コーディネーターは、社会福祉協議会にいます

生活支援コーディネーターの仕事は、地域の課題を見つけて、地域の人や団体と一緒に解決策を考えていくことです。

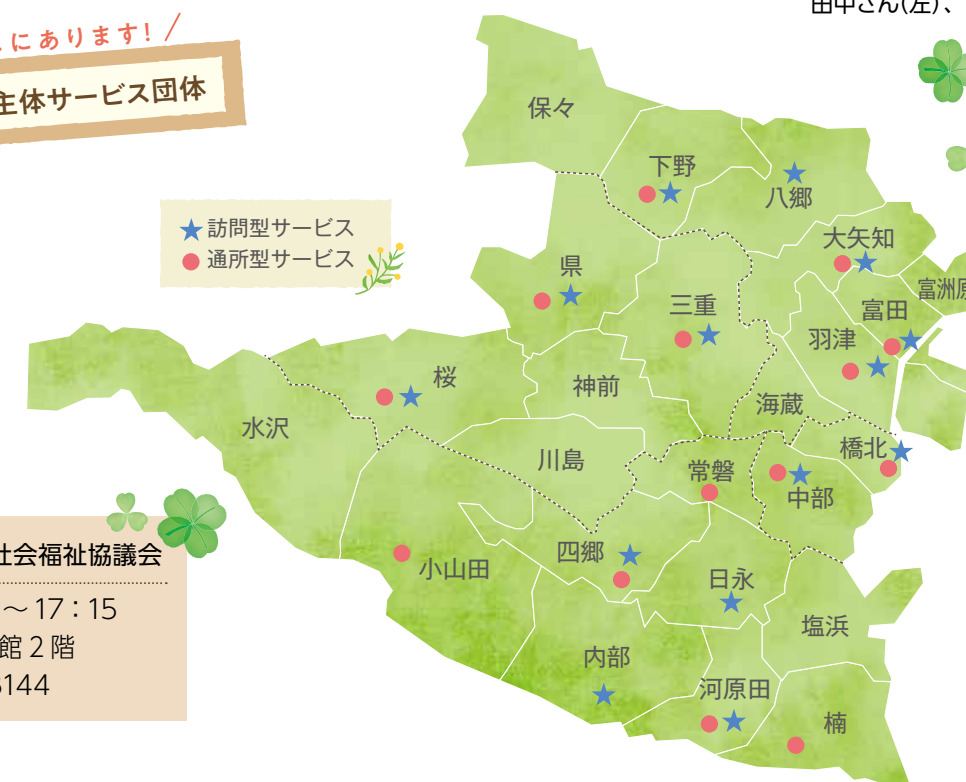
本市の住民主体サービス団体の多くは、立ち上げから10年近くが経過していて、団体から「どうしたら新しい担い手を見つけることができるか」という相談を受けることが増えてきました。今後、地域の支え合いに参加する人を増やしていくために、従事者研修会を実施するなど、さまざまな企画を検討していきます。

地域の支え合いを継続していくために、まずはみなさんの声を聞かせてください。



社会福祉協議会
(生活支援コーディネーター)
田中さん(左)、前納さん(右)

ここにいます！
住民主体サービス団体



四日市市社会福祉協議会

時 8:30 ~ 17:15

所 総合会館 2階

☎ 354-8144

あなたの地域でも、気軽に始めてみませんか



高齢福祉課 かわさき 川崎

本市の住民主体サービスは、年間延べ約44,000人と利用が多く、その輪は年々広がりを見せていますが、すべての地区をカバーできていません。「自分の地域でも始めたい」「活動に参加したい」と思ったら、ぜひ一歩踏み出してみませんか。ご近所の人のごみ出しを手伝うなどで構いません。それが地域づくりのきっかけになります。新しく団体を立ち上げたい人、興味のある人の相談も受け付けています。あなたの行動が、安心して暮らせる地域づくりの第一歩になります。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 高齢福祉課 TEL:354-8170 FAX:354-8280

あなたのこれからを考える

人生会議をはじめよう

人生会議とは、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族などの大切な人や医療・福祉関係者と繰り返し話し合い、共有することです。「自分らしい生き方」を実現するために、身近な人と今から人生会議を始めてみませんか。

※「人生会議」は、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）ともいいます



人生会議にまつわるギモン

■なぜ必要なの？

命の危険が迫った時、約70%の人が、自分が望む医療やケアなどについて決めたり、希望を伝えたりできなくなると言われています。そんな時でも決めなければならないことはたくさんあります。前もって自分の考えを周囲の人に伝えておけば、その思いは尊重されやすく、また、本人に代わって選択をする人の負担が軽くなります。

■いつから始めるの？

人生会議は、年齢に関係なくいつからでも始められます。自分の考えが伝えられる元気な時から話し合ってみましょう。まずは自分が取り組んでみると、家族や友人にも勧めやすいのではないのでしょうか。



人生会議で話したいのはこんなこと

1 もしもの時に、あなたの代わりに、受けたい医療やケアについて話し合ってほしい人は誰ですか？

- ☐配偶者・パートナー ☐子 ☐孫 ☐きょうだい
☐親戚 ☐友人 ☐かかりつけ医・ケアマネジャー ☐その他（ さん）

2 あなたにとって大切なことはどんなことですか？

- ☐家族や友人のそばにいたいこと ☐仕事を続けられること
☐できる限りの治療を受けること ☐家族の負担にならないこと
☐痛みや苦しみが少ないこと ☐少しでも長く生きること
☐その他（ ）

3 病状の悪化などにより、自分の考えを伝えられなくなった場合に、どこで過ごしたいですか？

- ☐病院 ☐自宅 ☐施設 ☐その他（ ）

人生会議をサポートする「これからノート」

自分がどう生きたいのか考え、人と共有するツールとして活用できる「これからノート」を配布しています。家族や周囲の人と一緒に書きながら、思いを整理してみませんか。

配布場所 市内病院（地域連携室、医療相談室）、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、保健企画課（総合会館4階）、四日市医師会

■市ホームページからもダウンロードできます



市ホームページ



医療の現場から、人生会議のススメ

かかりつけ医として約29年、多くの患者さんに関わってきました。長く診ている患者さんの中には高齢になり、通院できなくなる人もいます。在宅で診てほしいという要望を受けることが多くなり、7年前から午後の診療はすべて訪問診療にしました。国が平成30年に、アドバンス・ケア・プランニングの愛称を「人生会議」と定め推奨し始めた時期は、ちょうど私が多くの患者さんの人生の最期を在宅で見届けることが増えていた頃でした。経験上、どんなケアを受けたいか、最期をどう過ごすのか、本人の気持ちが共有できていて思い通りに過ごせると、本人も、サポートする家族も後悔が残らないと感じています。

「人生会議」とは、受けたい医療やケアをどうするかだけではなく、自分らしくどう生きていくのかを周りに話しておくことです。人は言葉にすることで初めて自分の気持ちを整理できて、その中で気付いた希望を実現しようと、前向きに生きられるようになるのではないのでしょうか。

「人生会議」が広まり、年配の人も若い人も含め、四日市市民みんなにとって「人生会議」をすることが当たり前になる。それは本人も家族も、医療従事者にとっても、幸せにつながる事なのです。



四日市医師会会長 山中賢治さん

人生会議の進め方



堀ちえみさんと一緒に人生会議について考えてみませんか

タレントの堀ちえみさんをゲストに迎え、ステージ4の舌がんを乗り越えた実体験と人生会議についてお話しいたします。

■演題 舌がんを乗り越えて生きる～私らしい生き方～

時 5月24日（土）13:30から（13:00開場） 所 文化会館第2ホール

定 500人（先着順） 料 無料

申 4月5日～5月12日に、専用フォームから、または、はがきで、代表者の住所・名前・電話番号、参加者全員の名前（5人まで）を、〒510-0075 安島1-3-31トナリエ四日市4階（株）デルタスタジオ内「舌がんを乗り越えて生きる～私らしい生き方～」事務局へ

他 手話通訳・要約筆記あり 問 （株）デルタスタジオ（☎355-1320 平日 10:00～18:00）



専用フォーム

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 保健企画課 ☎ 354-8281 FAX 351-3304

伊勢根付職人

梶浦 明日香さん



江戸時代から伝わる伝統工芸品「伊勢根付」。手のひらサイズの工芸品は、精巧で緻密な職人の技の結晶です。梶浦さんは、その美しさと匠の技に惹かれ、アナウンサーから根付職人へと転身。注文生産をはじめ各地の展示会などへ出品し、人気を集めています。また、中部地方の女性職人らとグループを結成し、伝統工芸の魅力を伝えるPRにも尽力しています。

職人の粋な遊び心も細工に施す根付

根付は、和装で小物などを持ち歩く際に巾着などのひもに取り付け、帯に提げるための留め具として生まれました。中でも、「伊勢根付」は伊勢参りのお土産として人気を博しました。3、4センチほどの小さな彫り物で、題材は十二

支や花鳥風月、家紋などさまざま。職人の粋な遊び心も細工に施しています。

彫刻の美しさはもちろんですが、たくさん触ってあめ色になることを「なれ」と言い、使い込むことで価値が増すと言われています。

当事者として伝統工芸を発信したい

アナウンサー時代、東海3県の職人を紹介する番組の企画を通して、多くの伝統工芸が後継者不足だと知りました。地域の宝が失われていくことに危機感を感じ、自分が当事者となって発信していきたいと根付職人の世界に飛び込みました。若さに価値が置かれがちな女性アナウンサーに対し、経験を積むほどに味わいが増す職人の世界にも感銘を受けました。2010年に師匠に弟子入りし、10年後に独り立ちしました。

異業種の女性職人らと「凜九」を結成 海外に目を向けた作品づくりを

職人は皆、作るものに誇りを持ち、日々研さんを積んでいるのですが、PRすることが苦手です。そこで、中部地方の女性職人9人によるグループ「凜九」を2017年に結成しました。職人の「凜」としたイメージや、異業種での「リンク」などの意味を込めました。伝統工芸の魅力を伝えるため、一人ではできない展示会の開催や、コラボ商品の企画などで互いに刺激を受け、助け合いながら活動しています。

モノを作るということは、想像や創造を生み出す楽しさがあり、人生を豊かにしてくれます。これからは、日本だけでなく海外にも目を向けた作品づくりに挑戦していきたいです。



制作中の梶浦さん



梶浦さんの根付作品



「凜九」のメンバー

4月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

人権のひろば

固 商業労政課 (TEL) 354-8417 (FAX) 354-8307

自分らしく働きたい～若者の就労～

国の調査によると、24歳以下の失業率は他世代に比べ高い状態が続いています。働く意欲があっても行動を起こせない若者の背景には、人間関係への悩みや就労への不安などがあります。外部に相談することをためらい、本人や家族だけで解決しようとする、社会的に孤立する可能性があります。高齢化や人手不足が深刻化する中、これからの社会を担う若者への就労支援が大きな課題となっています。

この課題解決のため、国は「地域若者サポートステーション」事業で、15～49歳の就労・就学中でない人を対象に、就労から職場定着までを支援しています。



就活セミナー



本市にも「北勢地域若者サポートステーション（ほくサポ）」（諏訪栄町3-4 星座ビル2階）があり、キャリアコンサルタントや臨床心理士など専門スキルを持ったスタッフとの個別相談や、コミュニケーション講座、ビジネスマナー講座、就活応援セミナーなど、働くための支援を受けることができます。

若者が自分らしく働くための一歩を踏み出すには、個人に合った支援や、寄り添って考えてくれる人の存在が必要です。皆さんの身近に悩んでいる人がいたら、「ほくサポ」への相談を勧めてみてください。北勢地域若者サポートステーション（☎：359-7280）



未来につづく北勢バイパス開通

3月16日(日)15時に北勢バイパスが開通しました。今回の開通区間は市道日永八郷線から国道477号バイパスまでの延長4.1kmです。

3月1日(土)に開催された開通プレイベント「未来につづく北勢バイパス」には、私も主催者として参加し、来場された皆さんとともに今回の開通をお祝いしてきました。

当日は、3月初旬とは思えないほどの暖かな陽気に恵まれ、開通前の道路を歩くことができたほか、開通区間にできた「坂部トンネル」の南西口をメイン会場に、ステージイベ



ントやキッチンカーの出店があり、家族連れをはじめ約1万5000人もの来場者で賑わいました。また、トンネル内部ではスーパーカーやはたらく車の展示があり、私も童心に返って楽しむことができました。

北勢バイパスは、将来的に鈴鹿四日市道路に接続し、その先の中勢バイパスとつながることで北勢地域の主要幹線道路の機能を強化することになります。今後の早期整備に向けて本市としても近隣市町と連携を図り、積極的に国に働きかけていきます。

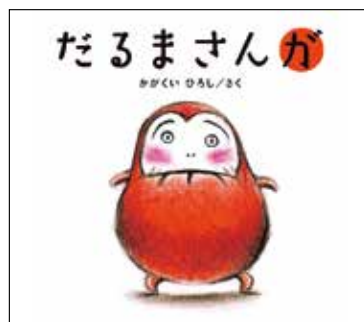
そらんぽへ行こう

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL 355-2700 FAX 355-2704)

東海地方初開催！ 「かがくいひろしの絵本」の魅力 に迫る展覧会

あいきょう
愛嬌たっぷりのだるまさんが、コミカルな音と動きで読む人を楽しませる「だるまさん」シリーズ。累計発行部数1,000万部を超え、たくさんのこどもたちに親しまれている絵本ですが、作者のかがくいひろし(1955～2009年)が、絵本作家としてデビューする前、特別支援学校の教員を28年間にわたって務めていたことはあまり知られていません。

かがくいは、障がいのあるこどもたちと接する中で、「相手の反応を引き出すこと」を考え続けました。教員時代の試行錯誤の日々が、こどもたちの笑いを引き出す絵本制作へ



『だるまさんが』2008年 ブロンズ新社

とつながっていきます。

博物館で開催する「かがくいひろしの世界展」では、絵本の原画やアイデアノートに加え、教員時代の貴重な映像記録や生徒と作った教材などの展示から、かがくいの人生を振り返り、生み出した絵本の魅力とそのルーツに迫ります。

本展は4月12日(土)～6月1日(日)の開催です。会場でしか見られない「だるまさん」幻の続編や、絵本のキャラクターが登場するアニメーションもあります。ぜひご来場ください。

文化財さんぽ

☎ 文化課 (TEL 354-8238 FAX 354-4873)

あがた 県地区に多い旅人の目印 ～道標～

市内には多数の道標がありますが、中でも県地区は特に多くの道標が残されています。すでに倒れているものや移動しているものも含めると、その数は20基を超えます。建てられた時期は、各地を行商で行き来した服部泰次郎はつとりだいが建立した大正時代をはじめ、明治時代や年代不詳など、さまざまです。

道標には街道名が刻まれる場合もありますが、多くは道路の行き先が刻印されています。県地区の道標に刻まれた行き先を見ると、「赤水あこず」や「くろ田」のほか、「坂部」「智積ちしやく」



道標 (黒田町 黒田橋北側三叉路)

など周辺地区も記されています。写真の道標には「右 江村」「左 北野 服部泰・・・」とあり、建てられた黒田町の隣の地名が刻まれています。

また、「四日市」「たどミち」「くわな道」「こもの」「下うが原」など街道につながる離れた地名も見られます。このようなことから、県地区は各地を結ぶ交通の要衝だったことがうかがえます。

人々が道標を頼りに往来していた昔を想像しながら、県地区の道標を探してみませんか。



有料広告

※広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します

データストレージで未来を創る。
ウェスタンデジタル

Western Digital

SanDisk | SanDisk Professional | WD | WD_BLACK

Western Digital, SanDisk, SanDisk Professional, SanDisk Extreme PRO, Corsair, WD My Cloud, WD Blue, WD Red, WD Purple, WD_BLACKは、米国及びその他の国におけるWestern Digital Corporationまたはその関連会社の商標です。SDXCは、マークII及びIIIはSD-3C、LLCの商標です。その他の商標も特定の目的のために使用されるものであり、各権利者によって商標登録されている可能性があります。©2023-2024 Western Digital Corporation or its affiliates. All rights reserved.

庭木1本から承ります!

早く! お得に!
きれいに!

お客様のお約束
庭木1本より明瞭料金
トイレはお借りしません
土日でもOKです
お茶はご遠慮します

生垣の剪定 長さ1m 高さ2m
通常 2,200円を ※税込
初回限定 先着10名様 **1,100円**

広報ようかいち
をい覧の方へ

ガーデンエクスプレス
カタクラ(東証スタンダード上場会社)グループ

四日市店
四日市市西浦1-1

営業時間 9:00~17:00
0120-61-4128

習い楽しむなら 第一楽器

あなたはこの春何を始めますか?
2025年度 体験レッスン・レッスン見学 受付中

子どもから大人まで
各種レッスンをご用意しています。

お問い合わせは、
お近くの
店舗・教室へ!

第一楽器
〒510-0075 三重県四日市市安島 2-3-32
TEL: 059-353-7361 (四日市センター)
(受付時間: 火~日 10:00~18:00 (月曜定休))

ヤマハ音楽教室 ヤマハ大人の音楽レッスン

ヤマハ英語教室

YAMAHA MUSIC SCHOOL

ヤマハ英語教室

参加無料 NISA iDeCo

女性のためのやさしいマネーセミナー

資産運用を始めたいけどわからないことだらけ...
何から始めていいのか...お金の知識がゼロで不安。
そんなあなたに初心者向けカリキュラムをご用意しました!

も学べる

- 貯める - 将来の目標設定を学ぶ
- 殖やす - 方法・仕組みを学ぶ
- 守る - 対策とポイントを学ぶ

「NISA」などを活用
資産運用方法
のキホン!

物価高騰や円安、
株価変動の不安に
負けない知識を学ぶ

今すぐ実践!
10年後に
差がつく!
貯蓄・運用の
ポイントを解説

しっかり理解
人生三大資金
徹底対策!

教育・住宅・老後
優先順位と対策を
基本から学ぶ!

CAFE OHZANの
クロワッサンラスク
3個入ラフィネA
Present!

簡単1分で完了
ご予約はコチラ

日時 **2025.4.26(土)** 10:30-12:00 | 13:30-15:00

会場 **四日市市地場産業振興センター(じばさん) 研修室5**
四日市市安島1丁目3-18(5階) 【アクセス】近鉄「四日市」駅から徒歩5分

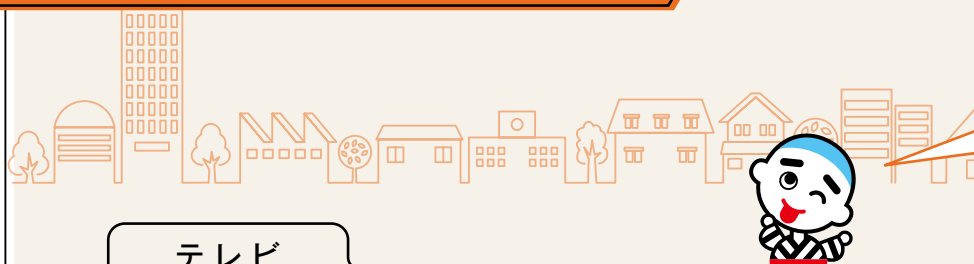
友人・夫婦参加OK
事前予約制 駅近

主催: はじめてのマネースクール事務局 (STORIES) info@stories-inc.co.jp 協力: オリックス生命保険株式会社 ※本イベントに関する問合せは二次
元コードよりお願いします。お電話での問合せは受け付けておりません。※特典画像はイメージです。問合せ先: 株式会社STORIES (03-6823-2297)

4月

市の情報発信

CITY INFORMATION



- 人口 306,008人
[2月末日現在(前年比-1,221)]
- 火災件数 11件
[2月分(前年比+3)]
- 交通事故件数 868件
(2月分)

テレビ

CTY(地デジ12ch)

■四日市市からのお知らせ

時 4月18日金、5月2日金・16日金 12:30/18:15/20:30
4月25日金 18:15/20:30

ラジオ

CTY-FM(FM76.8MHz)

■マンスリーよっかいち

時 第1・3回 8:54/14:54

■ALO! YOKKAICHI

時 土 19:54

■なるほど! 防災

時 月 17:30/水 8:30

東海ラジオ
(AM1332kHz / FM92.9MHz)

■1・2・3

四日市メガリージョン!! 8

時 土 20:00

■よっかいち わいわい人探訪!

時 第2・4回 8:54/14:54

■人権を確かめあう日

時 毎月22日(4月は、7:30/
11:54/13:54/16:30/
18:30)

友だち募集中

四日市市
LINE
公式アカウント
@yokkaichicity



ウェブ/アプリ

ホームページ

四日市市ホームページ

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



広報紙

■マイ広報紙

- 自動翻訳機能
(ポルトガル語、ベトナム語ほか20言語)
- 自動音声読み上げ



■マチイロ



■Lorcle

「四日市市」
を選択



SNS

Facebook



X



YouTube



Instagram



編集後記

表紙に関するこぼれ話



表紙は今が旬のワカメの収穫です。収穫したワカメは翌日、講座「めざせ海藻ハカセ〜食べて学ぶワカメのひみつ〜」(主催:四日市公害と環境未来館)で、参加者が実際に触ったり、調理したりして、地元で育ったワカメを通して、海の環境と海藻の生態を楽しく学んでいました。

撮影はまだまだ寒い時期でしたが、お湯に通すことで、鮮やかな緑色に変わるワカメは、確かな春の訪れを感じさせました。(大杉)



広報よっかいち 4月上旬号 No.1666 (令和7年4月5日発行)

編集・発行/四日市市広報マーケティング課

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号 ☎059-354-8104(総合案内) 印刷/水九印刷株式会社

UD FONT
by MORISAWA